

2. 高齢者お達者プランの策定状況について

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 の結果について

(別添資料)



加賀市健康福祉部長寿課

平成 29 年 10 月 26 日

加賀市
日常生活圏域二一ズ調査
調査結果報告書
(速報版)

平成 29 年 10 月

加 賀 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	日常生活圏域ニーズ調査	2
	(1) 回答者属性	2
	(2) 質問回答	3
	(3) 生活機能評価等に関する分析	21

I 調査の概要

1 調査の目的

要介護状態になる前の高齢者の「悪化につながるリスクの発生状況」「社会参加状況」「社会資源」の把握及び「要介護度の悪化に影響を与える日常生活の状況」を把握することで、地域診断への活用、地域課題の特定をし、第7期介護保険事業計画に反映させることを目的とし、また、介護保険事業計画策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

70歳以上の高齢者（要支援・要介護認定者、事業対象者は除く）

3 調査期間

平成29年6月から平成29年7月10日まで（速報版として）

4 調査方法

・郵送による配布・回収

5 回収状況

	配 布 数	有効回答数	有効回答率
日常生活圏域ニーズ調査	11,997 通	4,454 通	37.2%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

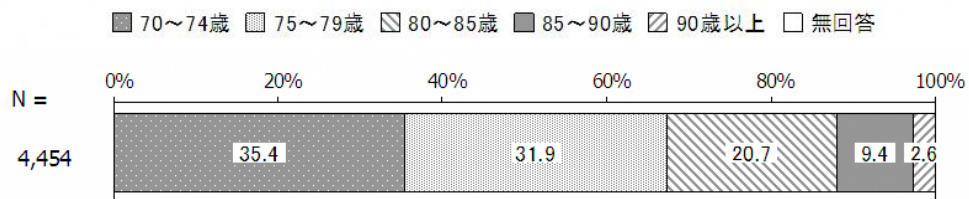
Ⅱ 調査結果

1 日常生活圏域ニーズ調査

(1) 回答者属性

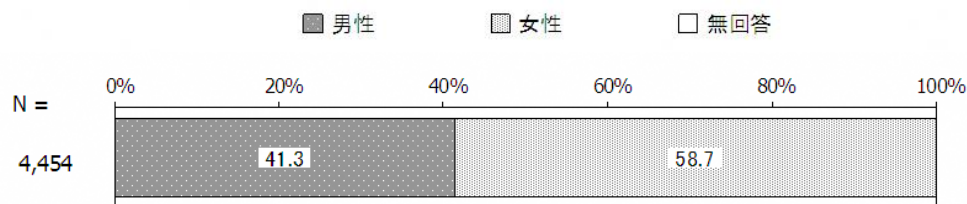
年齢

「70～74 歳」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「75～79 歳」の割合が 31.9%、「80～85 歳」の割合が 20.7%となっています。



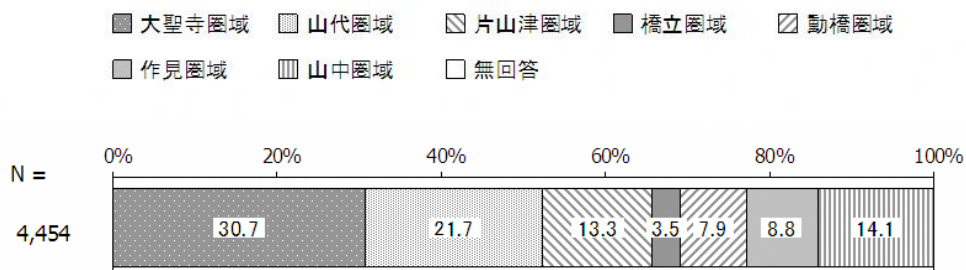
性別

「男性」の割合が 41.3%、「女性」の割合が 58.7%となっています。



圏域

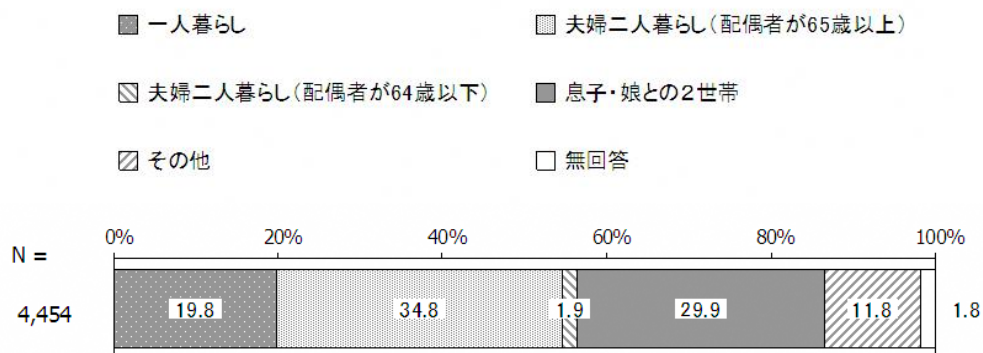
「大聖寺圏域」の割合が 30.7%と最も高く、次いで「山代圏域」の割合が 21.7%、「山中圏域」の割合が 14.1%となっています。



(2) 質問回答

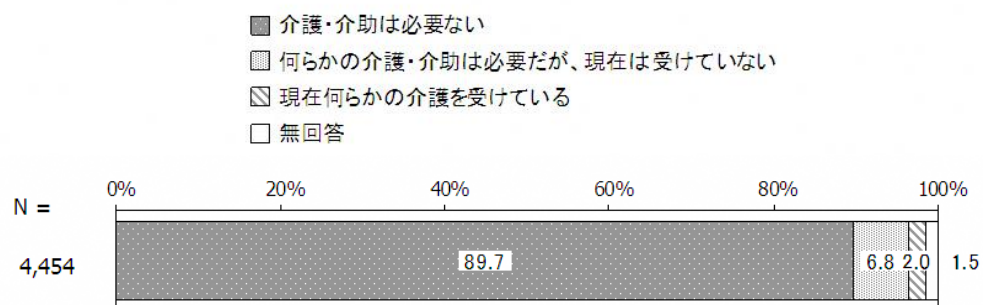
問1 家族構成を教えてください

「夫婦二人暮らし（配偶者が65歳以上）」の割合が34.8%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」の割合が29.9%、「一人暮らし」の割合が19.8%となっています。



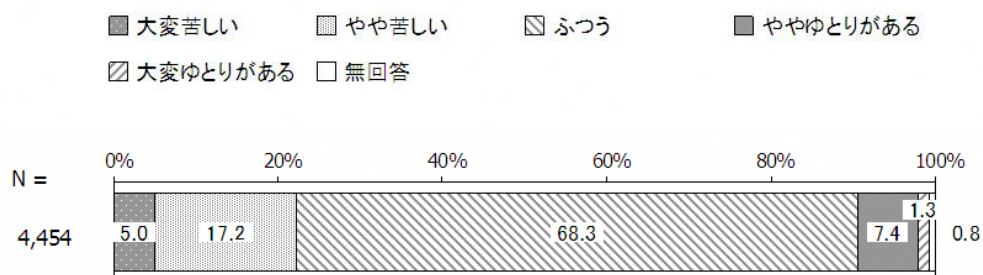
問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

「介護・介助は必要ない」の割合が89.7%と最も高くなっています。



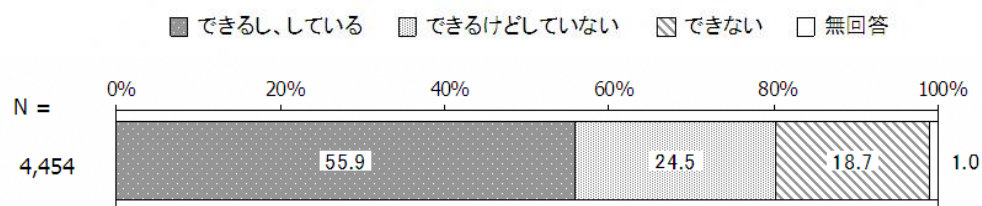
問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

「ふつう」の割合が68.3%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が17.2%となっています。



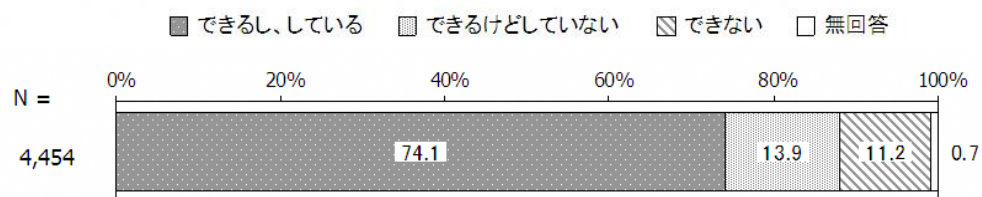
問4 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

「できるし、している」の割合が55.9%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が24.5%、「できない」の割合が18.7%となっています。



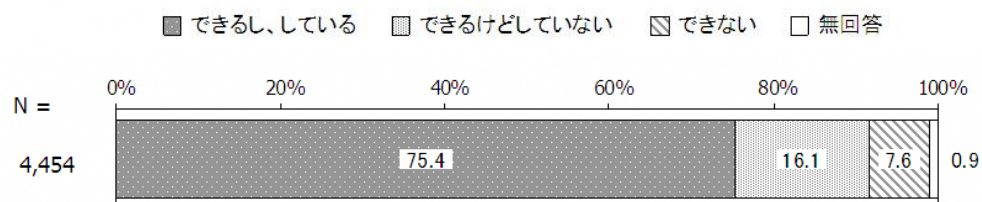
問5 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

「できるし、している」の割合が74.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が13.9%、「できない」の割合が11.2%となっています。



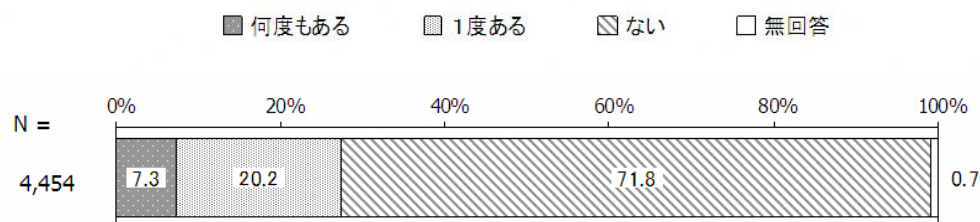
問6 15分位続けて歩いていますか

「できるし、している」の割合が75.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が16.1%となっています。



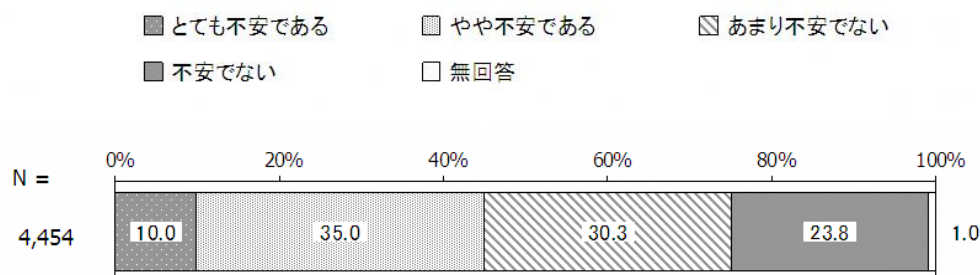
問 7 過去 1 年間に転んだ経験がありますか

「ない」の割合が 71.8%と最も高く、次いで「1 度ある」の割合が 20.2%となっています。



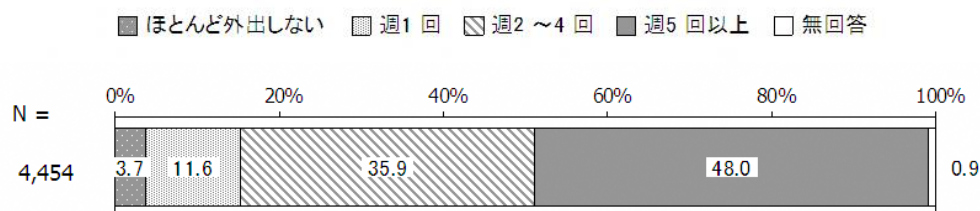
問 8 転倒に対する不安は大きいですか

「やや不安である」の割合が 35.0%と最も高く、次いで「あまり不安でない」の割合が 30.3%、「不安でない」の割合が 23.8%となっています。



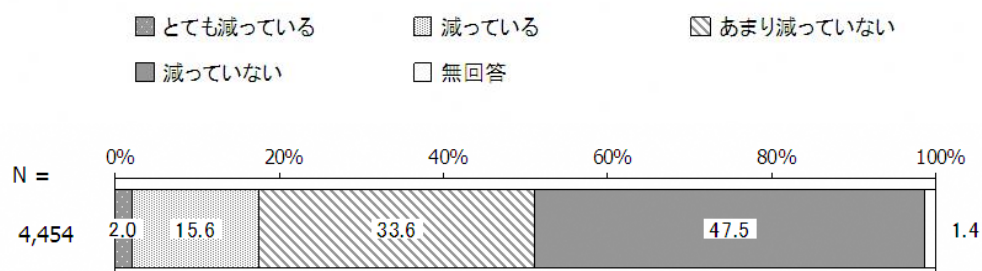
問 9 週に 1 回以上は外出していますか

「週 5 回以上」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「週 2～4 回」の割合が 35.9%、「週 1 回」の割合が 11.6%となっています。



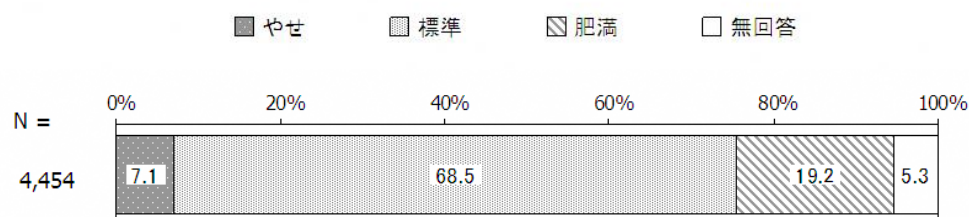
問 10 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

「減っていない」の割合が 47.5%と最も高く、次いで「あまり減っていない」の割合が 33.6%、「減っている」の割合が 15.6%となっています。



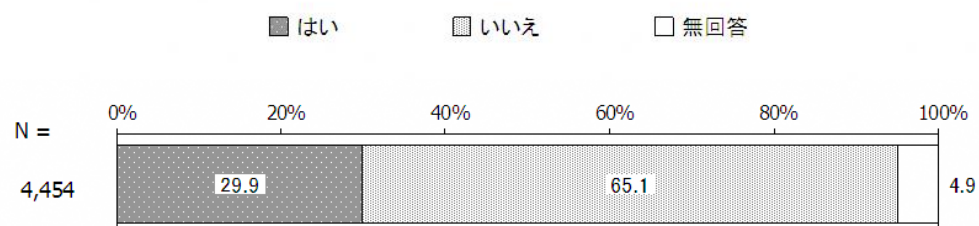
問 11 身長・体重をご記入ください。(BMI)

「標準」の割合が 68.5%と最も高く、次いで「肥満」の割合が 19.2%となっています。



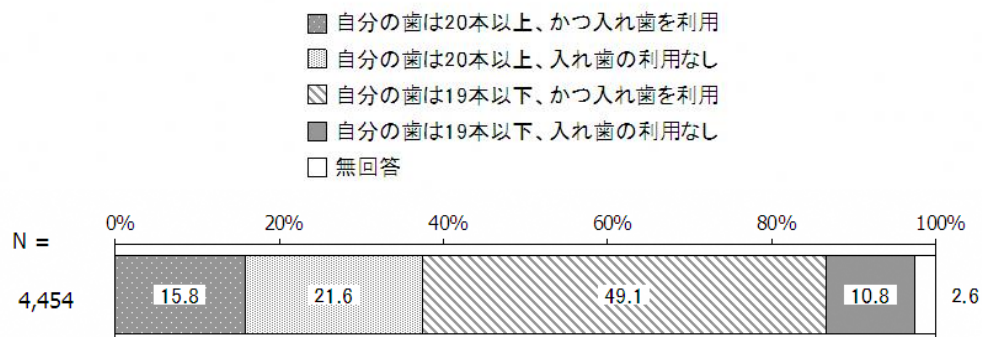
問 12 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

「はい」の割合が 29.9%、「いいえ」の割合が 65.1%となっています。



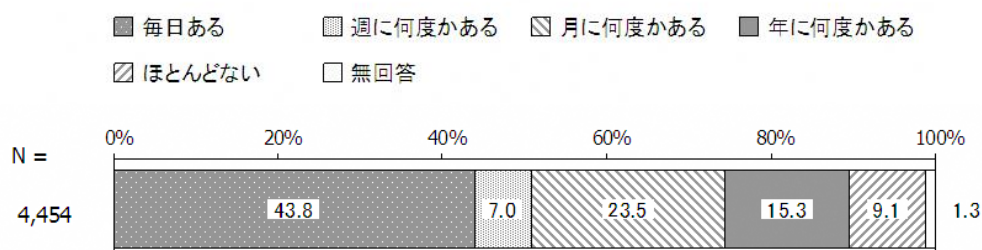
問 13 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が49.1%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が21.6%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が15.8%となっています。



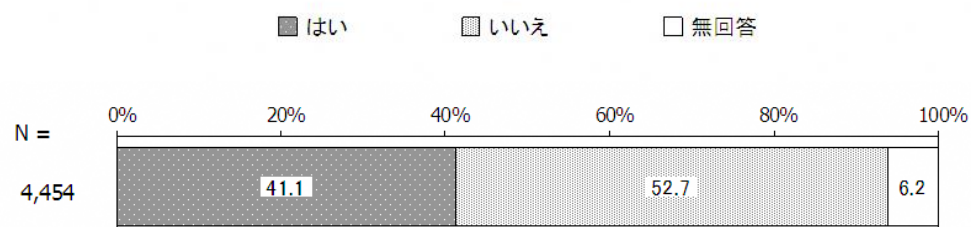
問 14 どなたかと食事をとめる機会がありますか

「毎日ある」の割合が43.8%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が23.5%、「年に何度かある」の割合が15.3%となっています。



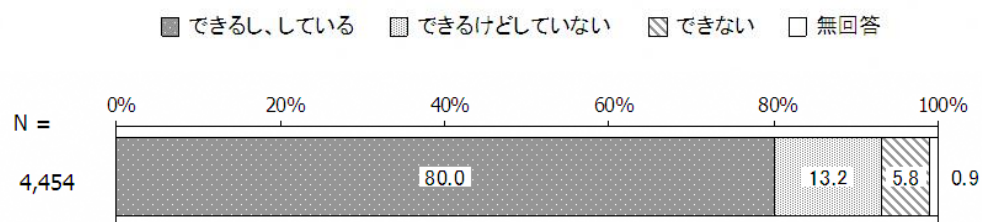
問 15 物忘れが多いと感じますか

「はい」の割合が41.1%、「いいえ」の割合が52.7%となっています。



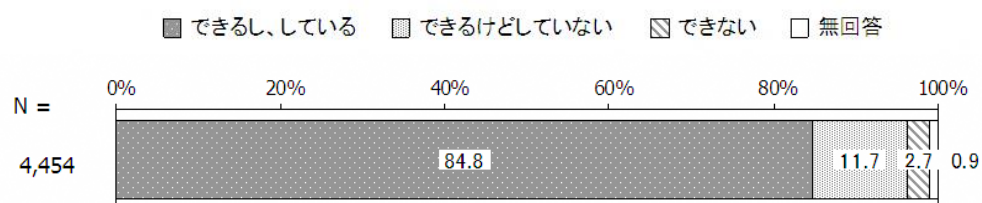
問 16 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

「できるし、している」の割合が80.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が13.2%となっています。



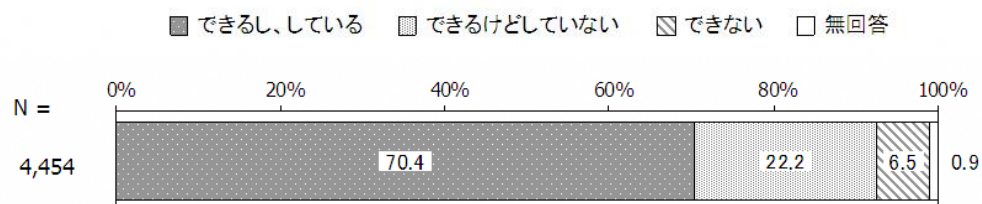
問 17 自分で食品・日用品の買物をしていますか

「できるし、している」の割合が84.8%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が11.7%となっています。



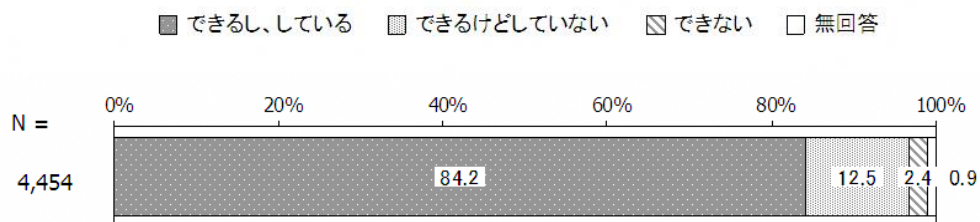
問 18 自分で食事の用意をしていますか

「できるし、している」の割合が70.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が22.2%となっています。



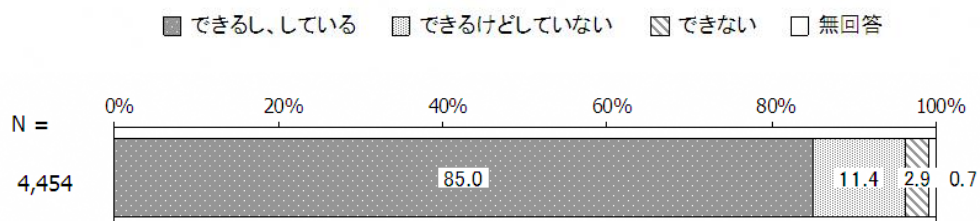
問 19 自分で請求書の支払いをしていますか

「できるし、している」の割合が 84.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 12.5%となっています。



問 20 自分で預貯金の出し入れをしていますか

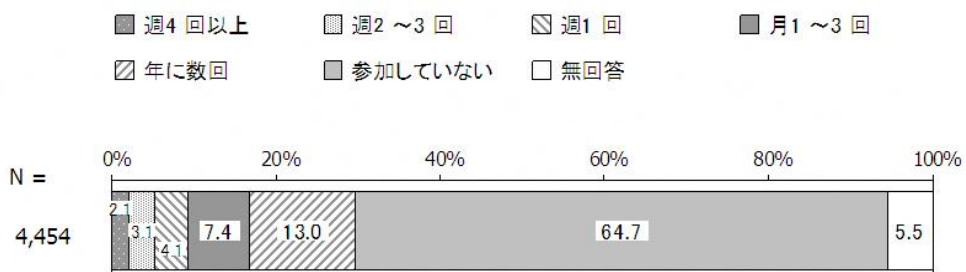
「できるし、している」の割合が 85.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 11.4%となっています。



問 21 以下の①～④の会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

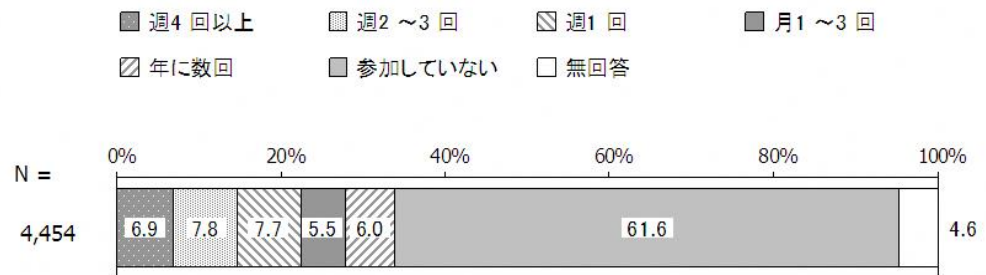
① ボランティアのグループ

「参加していない」の割合が 64.7%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が 13.0%となっています。



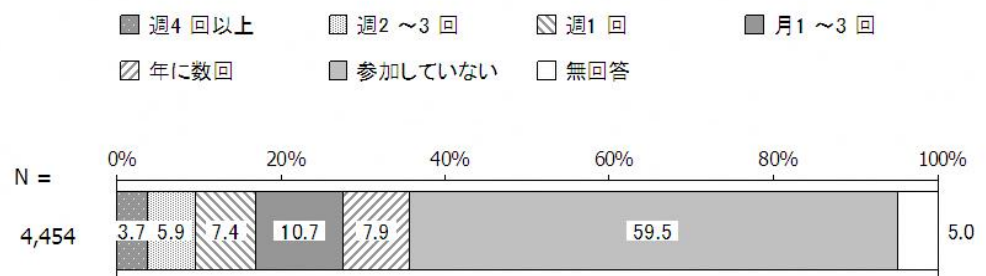
② スポーツ関係のグループやクラブ

「参加していない」の割合が61.6%と最も高くなっています。



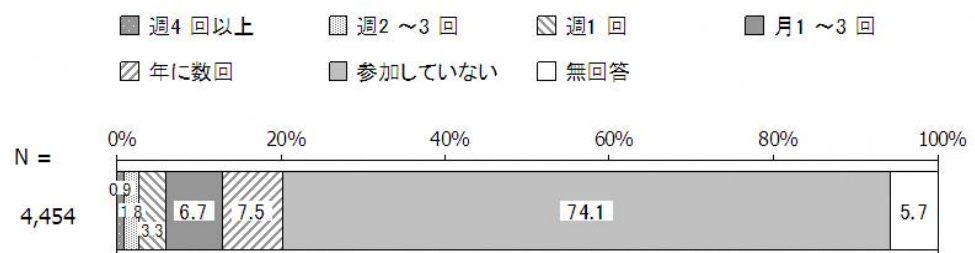
③ 趣味関係のグループ

「参加していない」の割合が59.5%と最も高く、次いで「月1～3回」の割合が10.7%となっています。



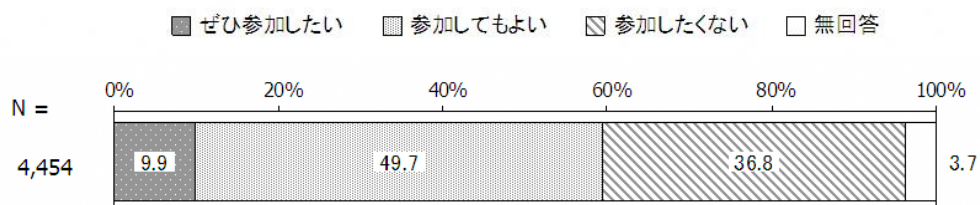
④ 学習・教養サークル

「参加していない」の割合が74.1%と最も高くなっています。



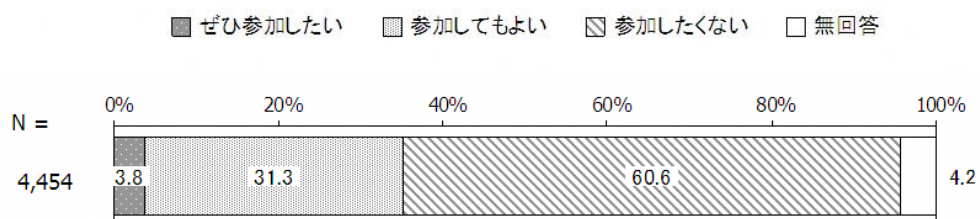
問 22 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

「参加してもよい」の割合が 49.7%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が 36.8%となっています。



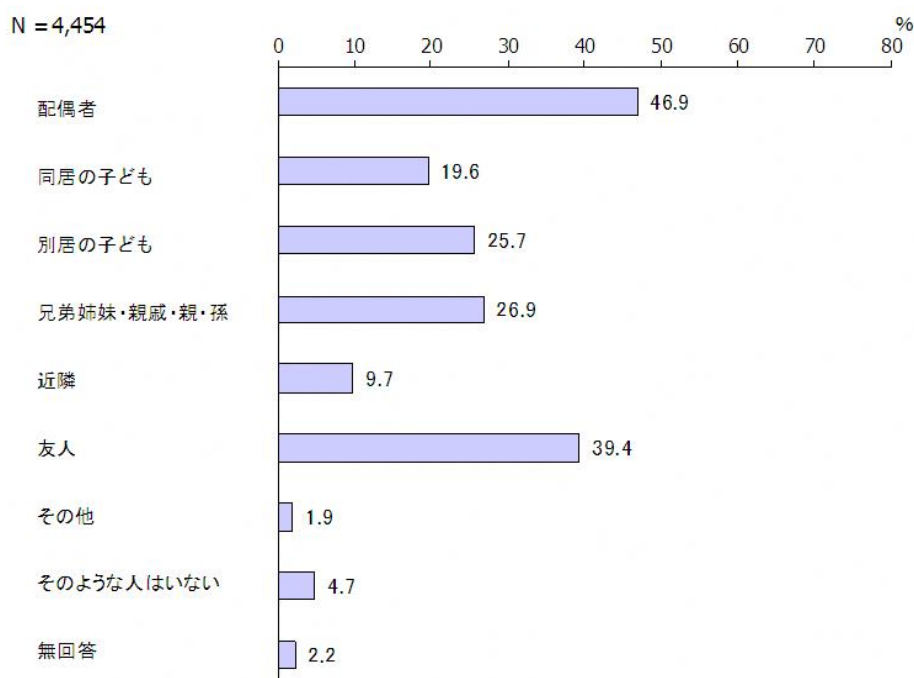
問 23 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

「参加したくない」の割合が 60.6%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が 31.3%となっています。



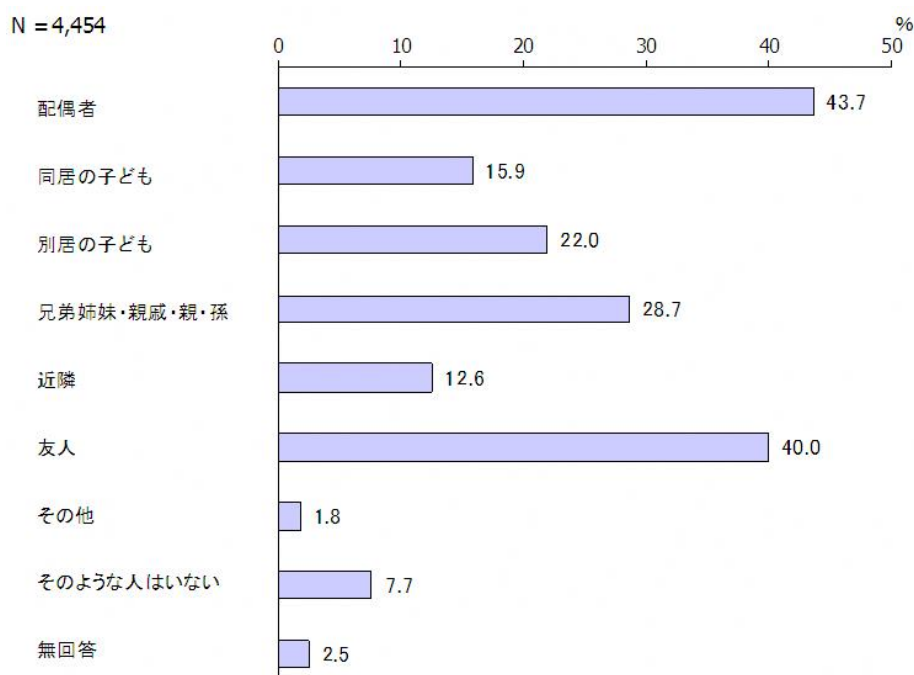
問 24 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「友人」の割合が 39.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が 26.9%となっています。



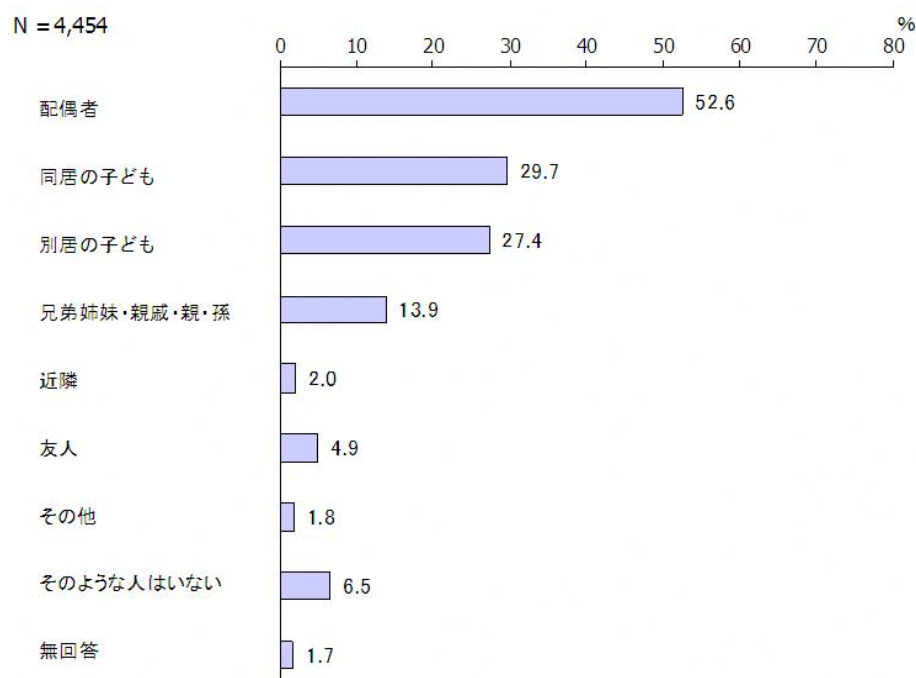
問 25 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が 43.7%と最も高く、次いで「友人」の割合が 40.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が 28.7%となっています。



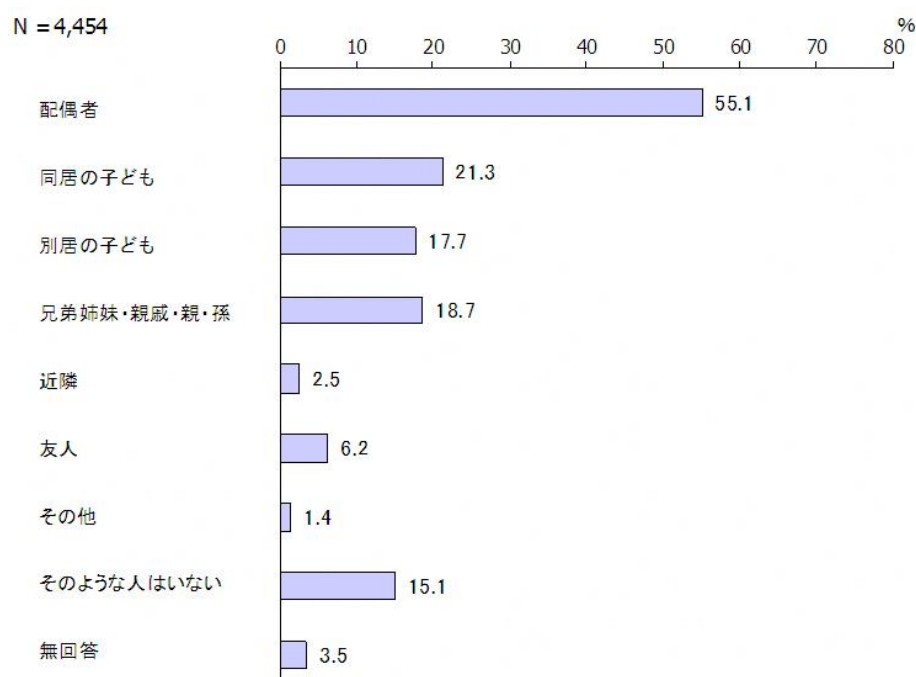
問 26 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が 52.6%と最も高く、次いで「同居の子ども」の割合が 29.7%、「別居の子ども」の割合が 27.4%となっています。



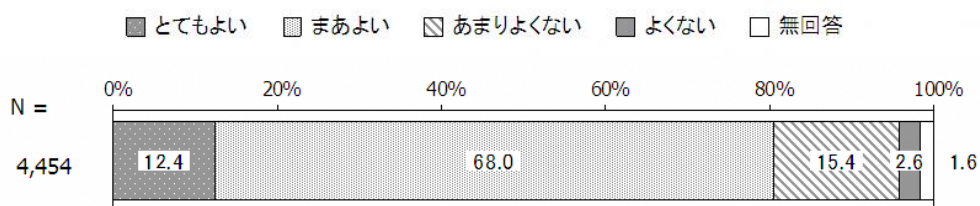
問 27 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が 55.1%と最も高く、次いで「同居の子ども」の割合が 21.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が 18.7%となっています。



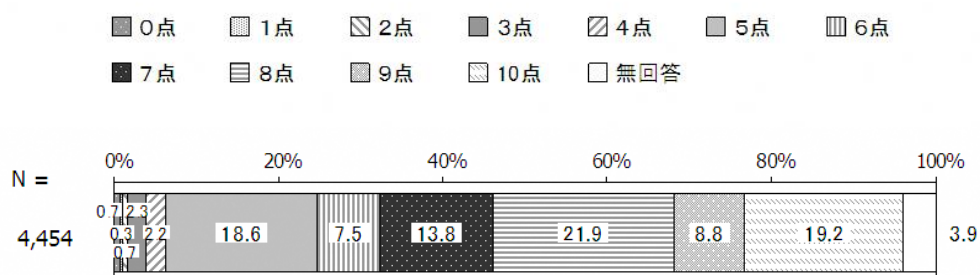
問 28 現在のあなたの健康状態はいかがですか

「まあよい」の割合が 68.0%と最も高く、次いで「あまりよくない」の割合が 15.4%、「とてもよい」の割合が 12.4%となっています。



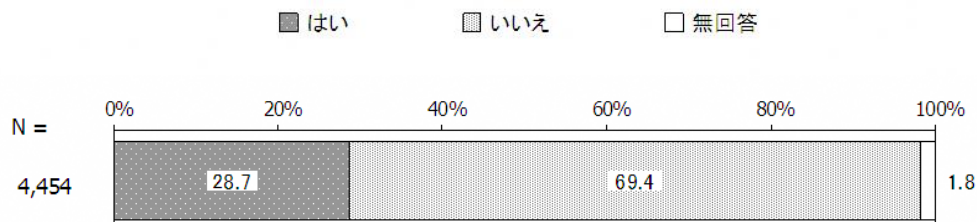
問 29 あなたは、現在どの程度幸せですか

「8点」の割合が 21.9%と最も高く、次いで「10点」の割合が 19.2%、「5点」の割合が 18.6%となっています。



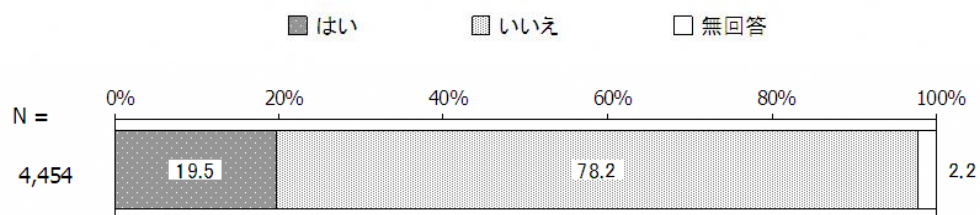
問 30 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

「はい」の割合が 28.7%、「いいえ」の割合が 69.4%となっています。



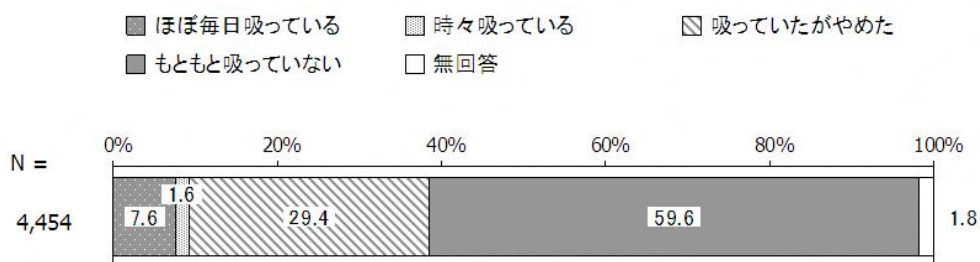
問 31 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

「はい」の割合が19.5%、「いいえ」の割合が78.2%となっています。



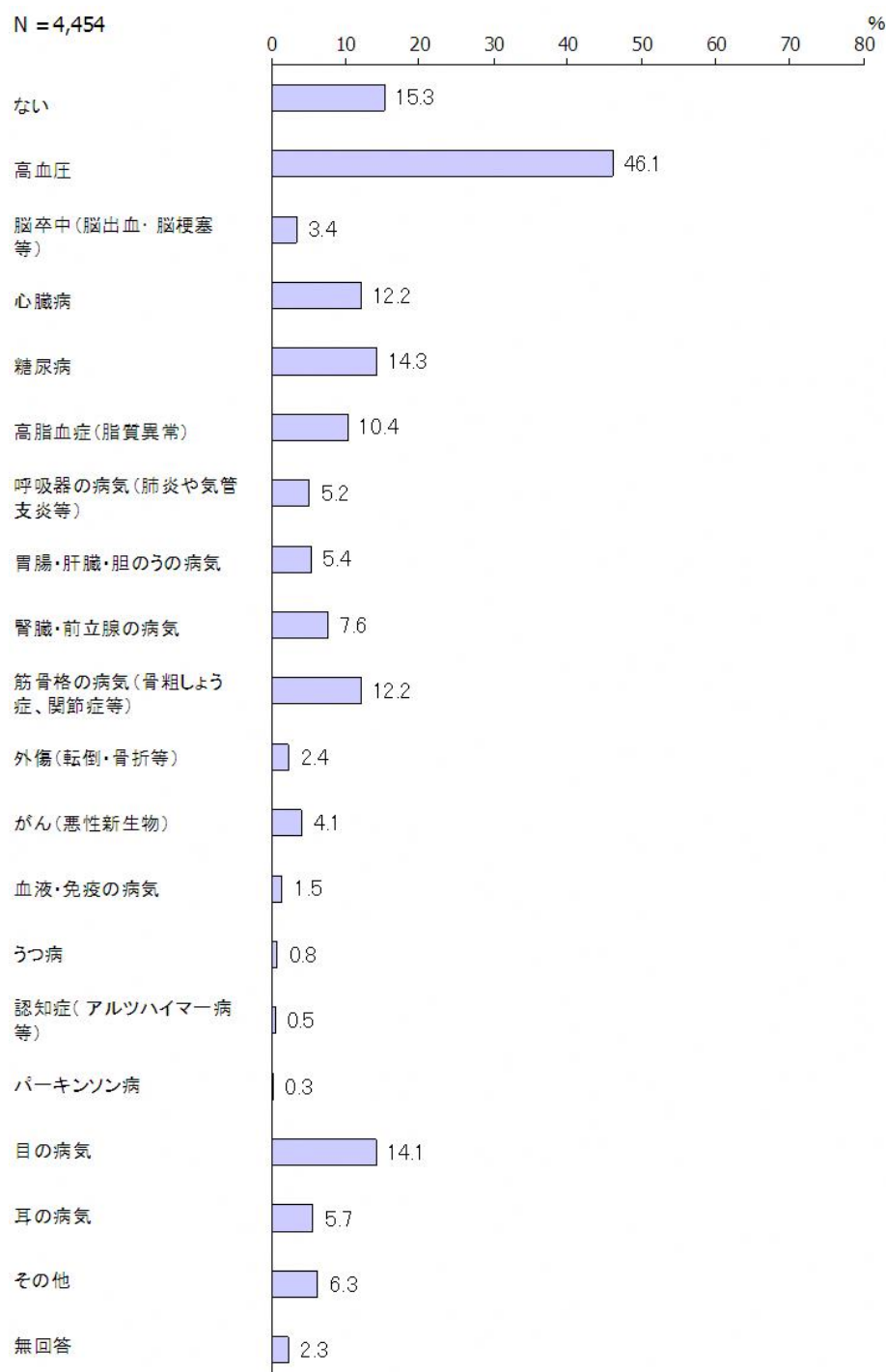
問 32 タバコは吸っていますか

「もともと吸っていない」の割合が59.6%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が29.4%となっています。



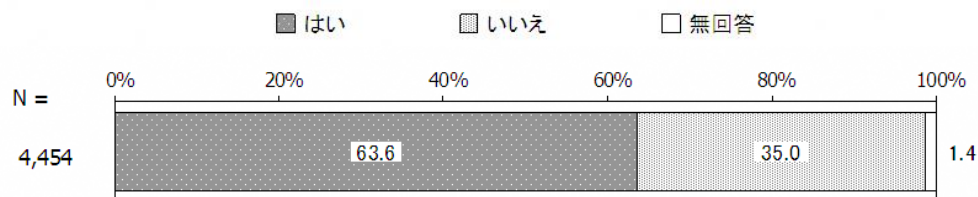
問 33 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

「高血圧」の割合が 46.1%と最も高く、次いで「ない」の割合が 15.3%、「糖尿病」の割合が 14.3%となっています。



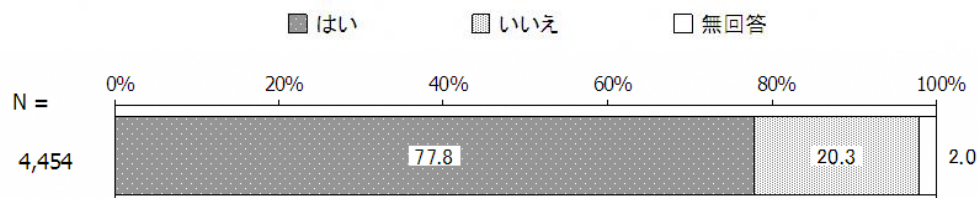
問 34 友人の家を訪ねていますか

「はい」の割合が 63.6%、「いいえ」の割合が 35.0%となっています。



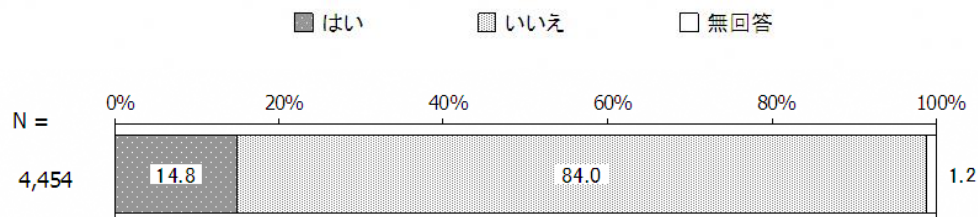
問 35 家族や友人の相談にのっていますか

「はい」の割合が 77.8%、「いいえ」の割合が 20.3%となっています。



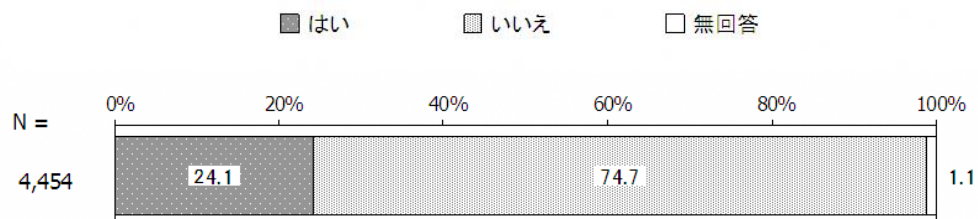
問 36 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

「はい」の割合が 14.8%、「いいえ」の割合が 84.0%となっています。



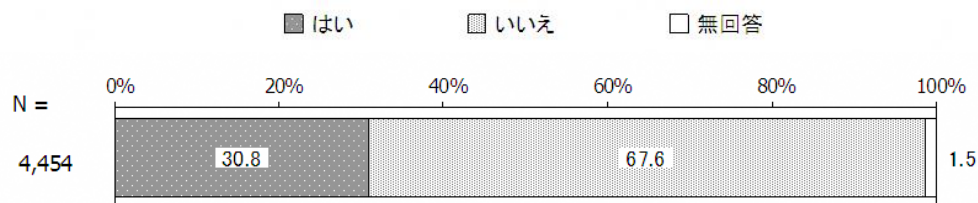
問 37 汁物等でむせることがありますか

「はい」の割合が 24.1%、「いいえ」の割合が 74.7%となっています。



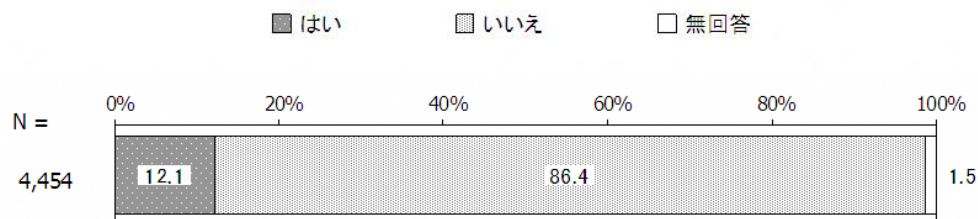
問 38 口の渇きが気になりますか

「はい」の割合が 30.8%、「いいえ」の割合が 67.6%となっています。



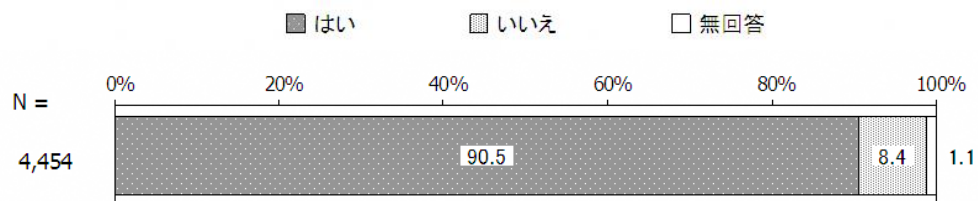
問 39 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか

「はい」の割合が 12.1%、「いいえ」の割合が 86.4%となっています。



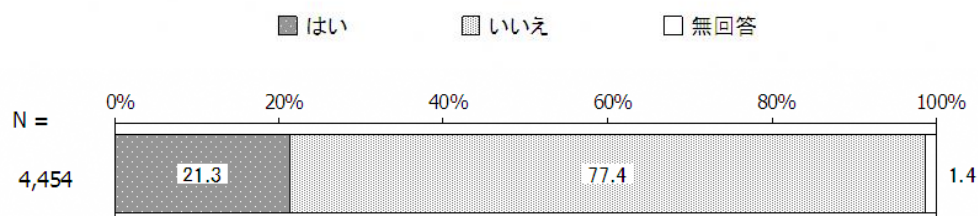
問 40 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

「はい」の割合が90.5%、「いいえ」の割合が8.4%となっています。



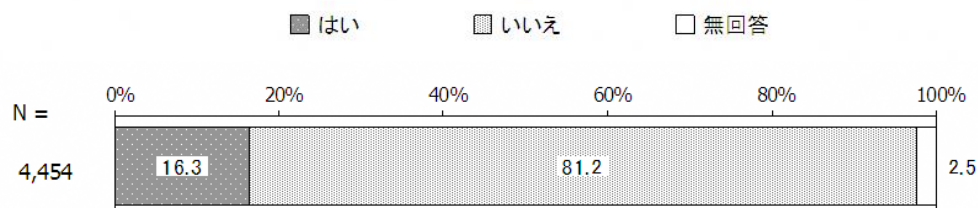
問 41 今日が何月何日かわからない時がありますか

「はい」の割合が21.3%、「いいえ」の割合が77.4%となっています。



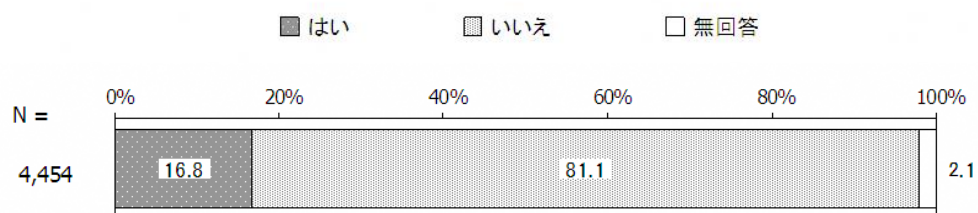
問 42 毎日の生活に充実がない

「はい」の割合が16.3%、「いいえ」の割合が81.2%となっています。



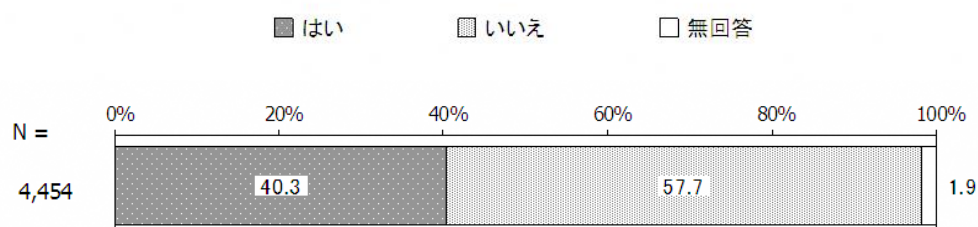
問 43 これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった

「はい」の割合が 16.8%、「いいえ」の割合が 81.1%となっています。



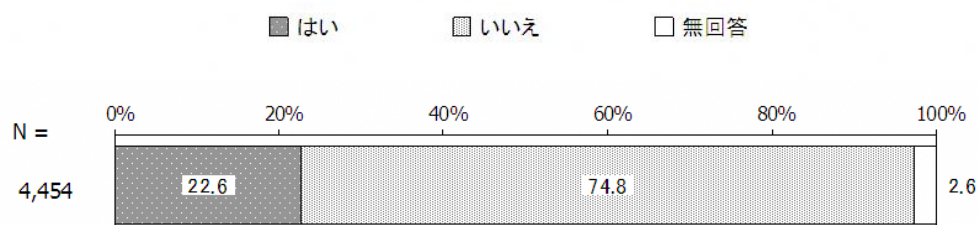
問 44 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる

「はい」の割合が 40.3%、「いいえ」の割合が 57.7%となっています。



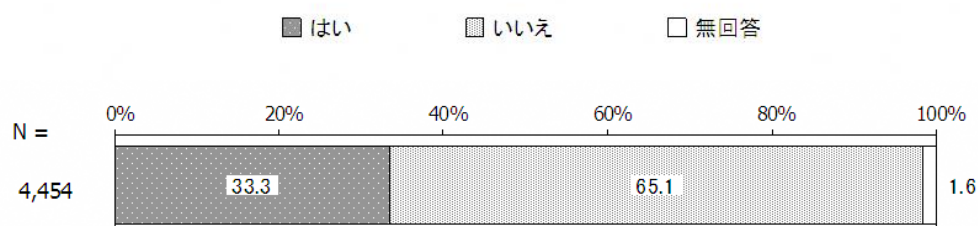
問 45 自分が役にたつ人間だとは思えない

「はい」の割合が 22.6%、「いいえ」の割合が 74.8%となっています。



問 46 わけもなく疲れたような感じがする

「はい」の割合が 33.3%、「いいえ」の割合が 65.1%となっています。



(3) 生活機能評価等に関する分析

①運動器

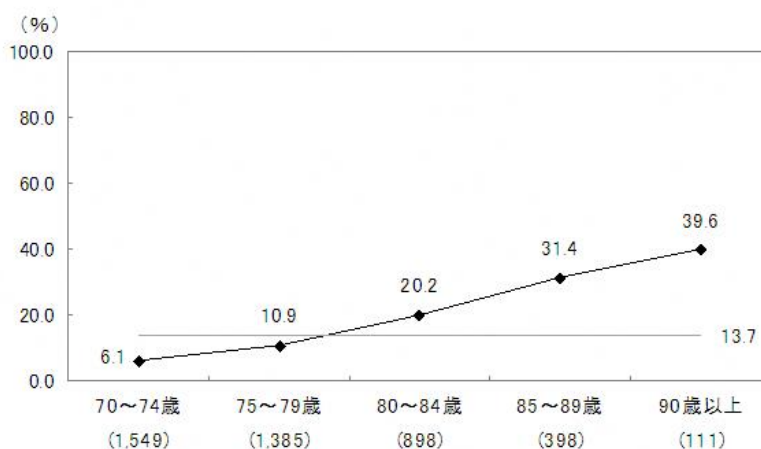
国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問4	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問5	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問6	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問7	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問8	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

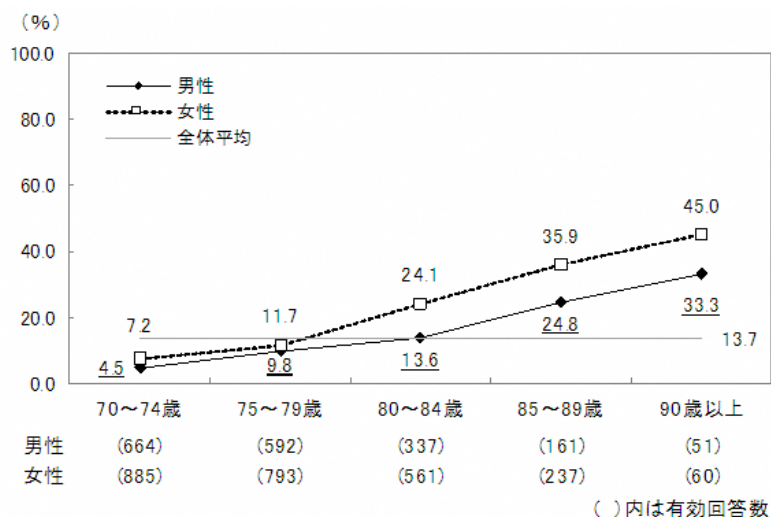
国の手引きに基づく運動器の評価結果をみると、全体平均では、13.7%が運動器のリスク該当者となっています。

特に80～84歳以降で割合の増加が大きくなり、80～84歳では20.2%と、全体平均よりも高くなっています。



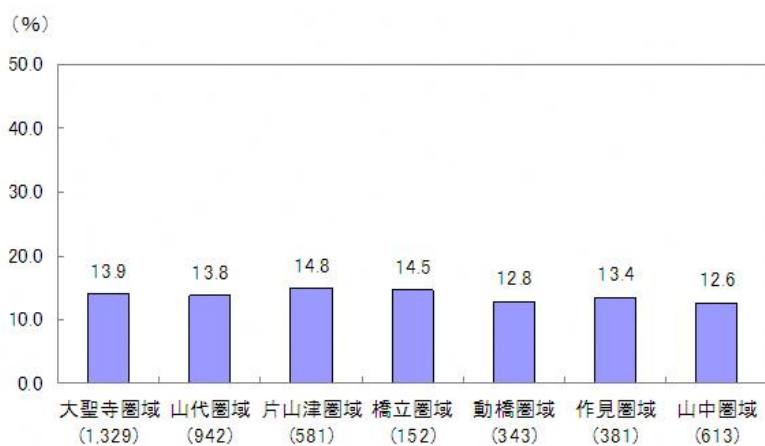
性別・年齢階級別にみると、どの年代も男性に比べ、女性で割合が高くなっています。80～84歳以上では、10ポイント以上の差となっています。男性では、85～89歳で24.8%と80～84歳に比べ、11.2ポイント増加しています。

【性別・年齢階級別】



圏域別にみると、片山津圏域で14.8%と最も高く、次いで、橋立圏域で14.5%、大聖寺圏域で13.9%となっています。また、最も低い圏域は山中圏域で12.6%となっています。

【圏域別】



②閉じこもり

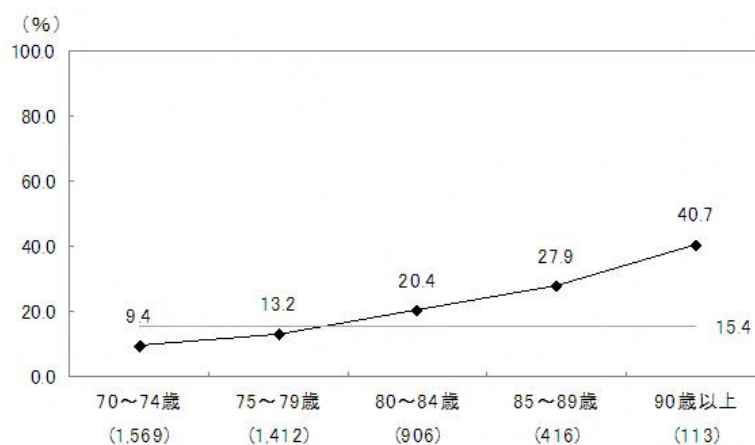
国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 9	週に 1 回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週 1 回

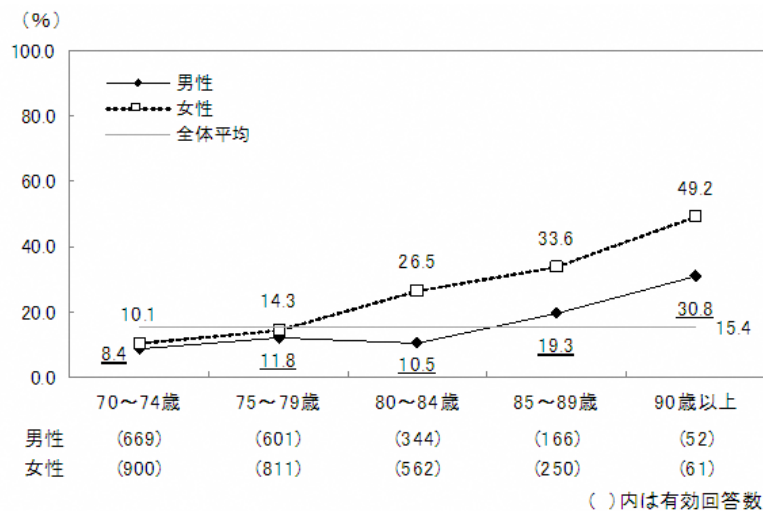
国の手引きに基づく閉じこもりの評価結果をみると、全体平均では、15.4%が閉じこもりのリスク該当者となっています。

特に 80～84 歳以降で割合の増加が大きくなり、80～84 歳では 20.4%と、全体平均よりも高くなっています。90 歳以上では、40.7%となっています。



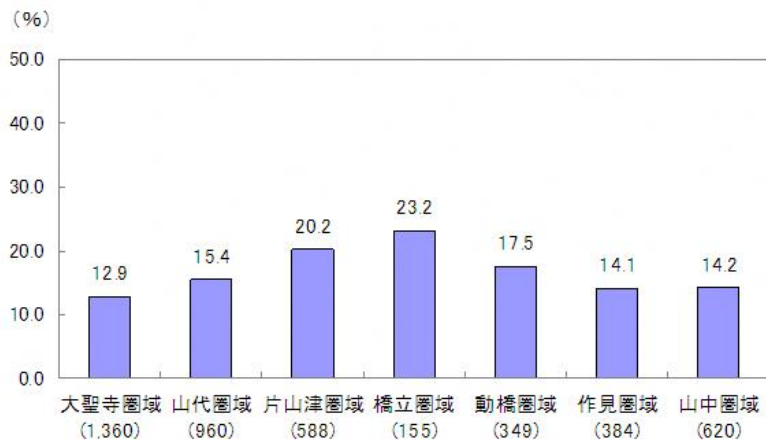
性別・年齢階級別にみると、どの年代も男性に比べ、女性で割合が高くなっています。特に女性では、80～84歳で割合が大きく増加し、26.5%となっています。また、75～79歳までは男性、女性とも大きく変わりませんが、80～84歳では女性が男性に比べ、16.0ポイント高くなっています。

【性別・年齢階級別】



圏域別にみると、橋立圏域で23.2%と最も高く、次いで、片山津圏域で20.2%、動橋圏域で17.5%となっています。また、最も低い圏域は大聖寺圏域で12.9%となっています。

【圏域別】



③転倒

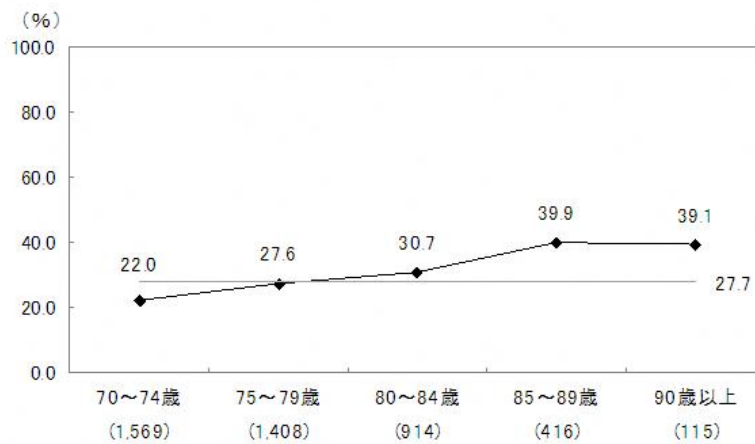
国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

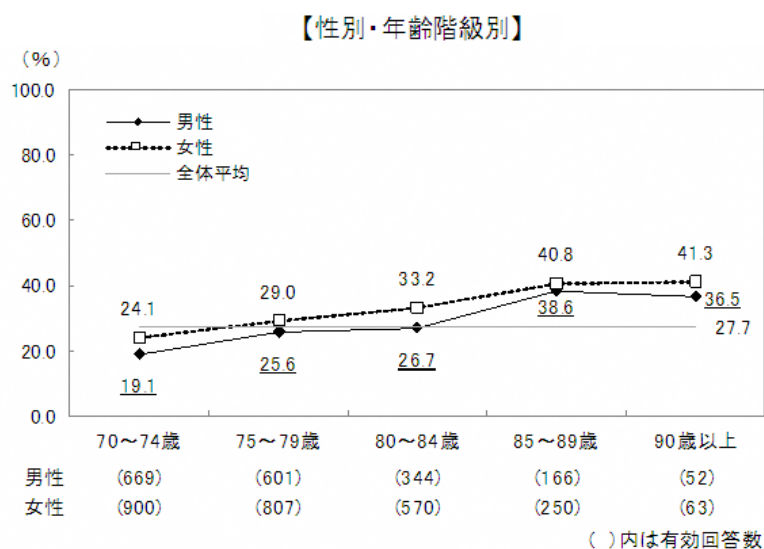
問番号	設問	該当する選択肢
問 7	過去 1 年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1 度ある

国の手引きに基づく転倒の評価結果をみると、全体平均では、27.7%が転倒のリスク該当者となっています。

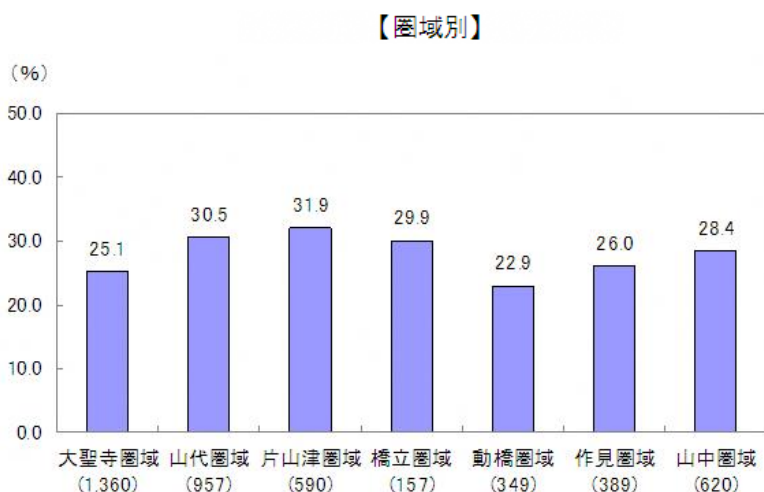
80～84 歳で全体平均を上回っており、また、85～89 歳で最も割合の増加が大きくなっています。



性別・年齢階級別にみると、どの年代も男性に比べ、女性で割合がわずかに高くなっています。女性では75～79歳以降、全体平均を上回る状態が続く一方、男性では85～89歳で大きく割合が高くなっています。男性では、85～89歳で38.6%と、80～84歳に比べ、11.9ポイント高くなっています。



圏域別にみると、片山津圏域で31.9%と最も高く、次いで、山代圏域で30.5%、橋立圏域で29.9%となっています。また、最も低い圏域は動橋圏域で22.9%となっています。



④低栄養

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のすべてに該当する人を低栄養のリスク該当者と判定しました。

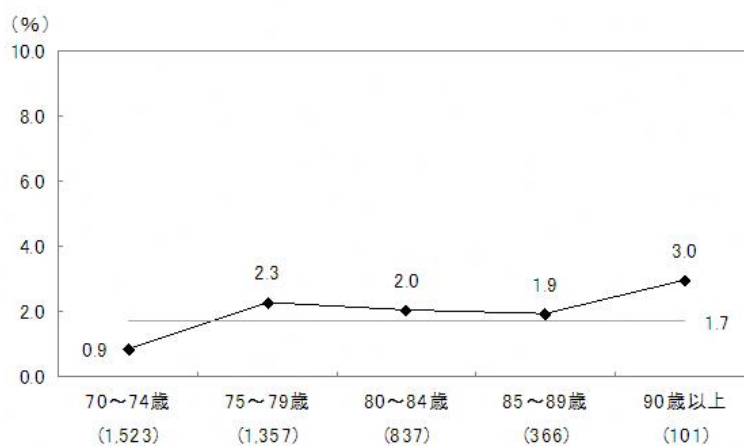
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 11	身長・体重をご記入ください。	BMI 18.5 未満
問 36	6 か月間で 2 ～ 3 kg 以上の体重減少がありましたか。	1. はい

【リスク該当状況】

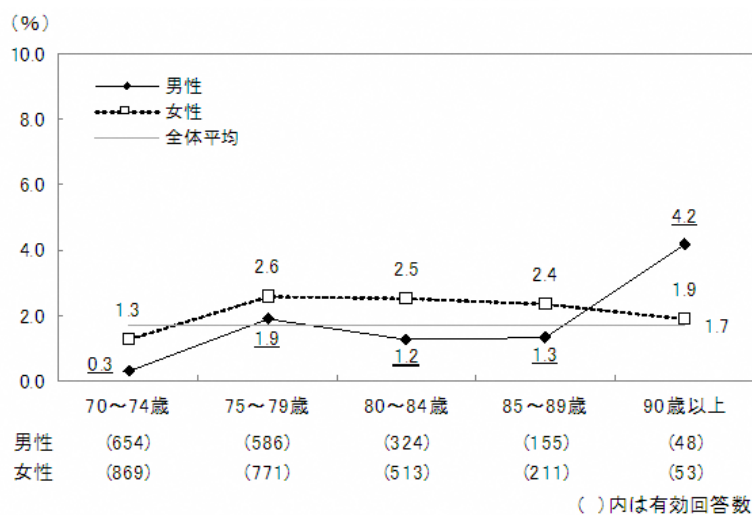
国の手引きに基づく低栄養の評価結果をみると、全体平均では、1.7%が低栄養のリスク該当者となっています。

75～79 歳で全体平均を上回っており、最も割合の増加が大きくなっています。



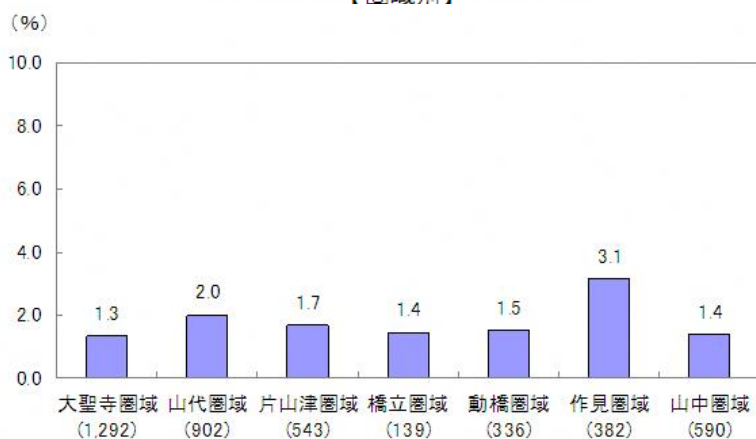
性別・年齢階級別にみると、女性では75～79歳で2.6%と全体平均を上回り、以降、年齢階級が高くなるにつれて割合が低くなっています。男性では、90歳以上で4.2%と全体平均を大きく上回っています。

【性別・年齢階級別】



圏域別にみると、作見圏域で3.1%と最も高く、次いで、山代圏域で2.0%、片山津圏域で1.7%となっています。また、最も低い圏域は大聖寺圏域で1.3%となっています。

【圏域別】



⑤口腔

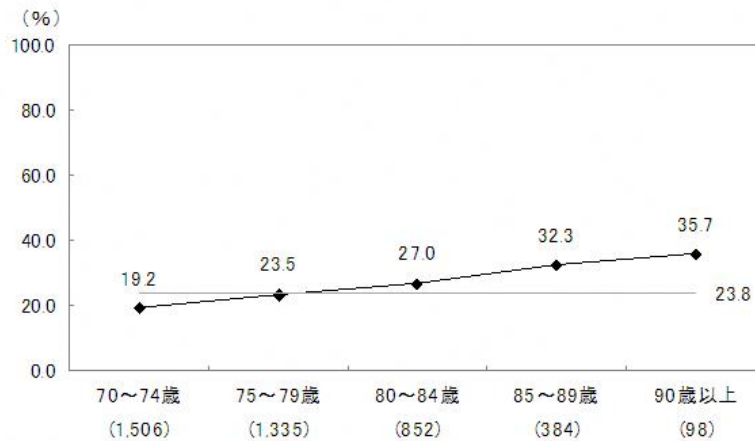
国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

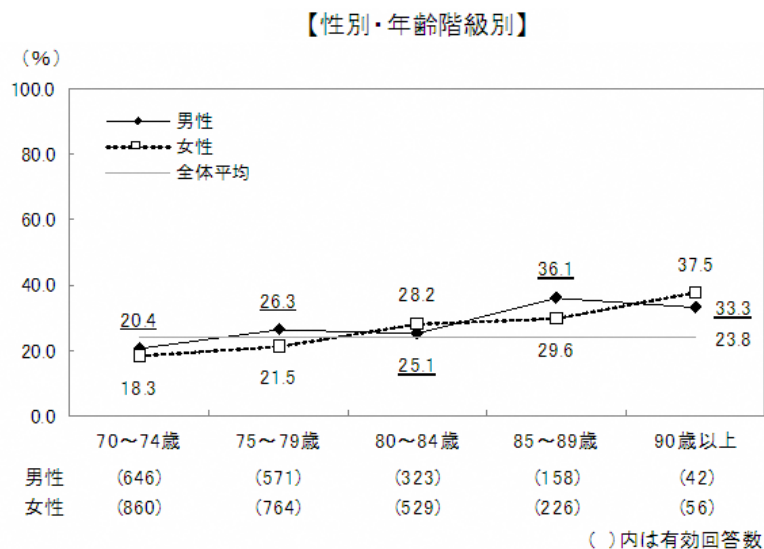
問番号	設問	該当する選択肢
問 12	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
問 37	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
問 38	口の渇きが気になりますか。	1. はい

国の手引きに基づく口腔の評価結果をみると、全体平均では、23.8%が口腔のリスク該当者となっています。

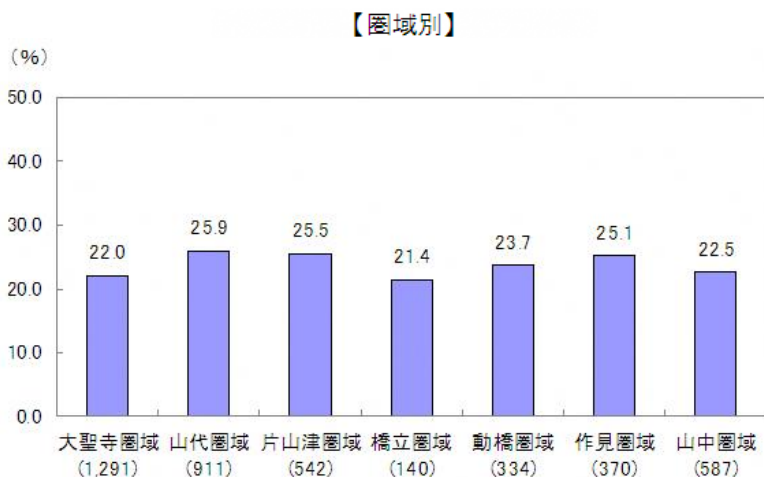
年齢階級が高くなるにつれ、リスク該当の割合がほぼ一定の割合で増加する傾向にあります。



性別・年齢階級別にみると、男性では増減を繰り返して推移しています。増加の割合では、特に 85～89 歳で 36.1%と、80～84 歳に比べ 11.0 ポイント高くなっています。一方、女性では年齢が高くなるにつれて割合が増加しており、80～84 歳、90 歳以上で男性を上回っています。



圏域別にみると、山代圏域で 25.9%と最も高く、次いで、片山津圏域で 25.5%、作見圏域で 25.1%となっています。また、最も低い圏域は橋立圏域で 21.4%となっています。



⑥認知

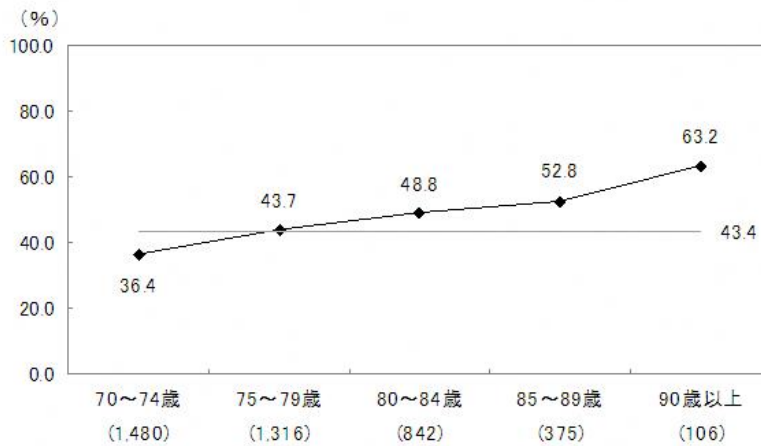
国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

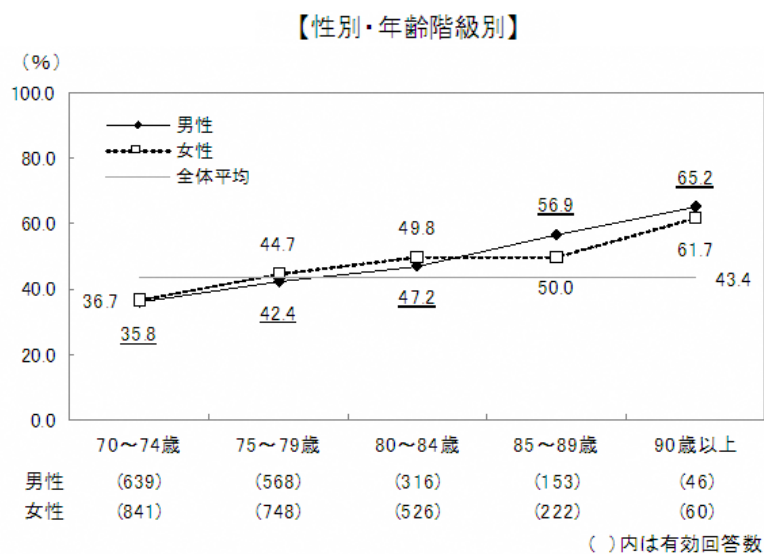
問番号	設問	該当する選択肢
問 15	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

国の手引きに基づく認知の評価結果をみると、全体平均では、43.4%が認知のリスク該当者となっています。

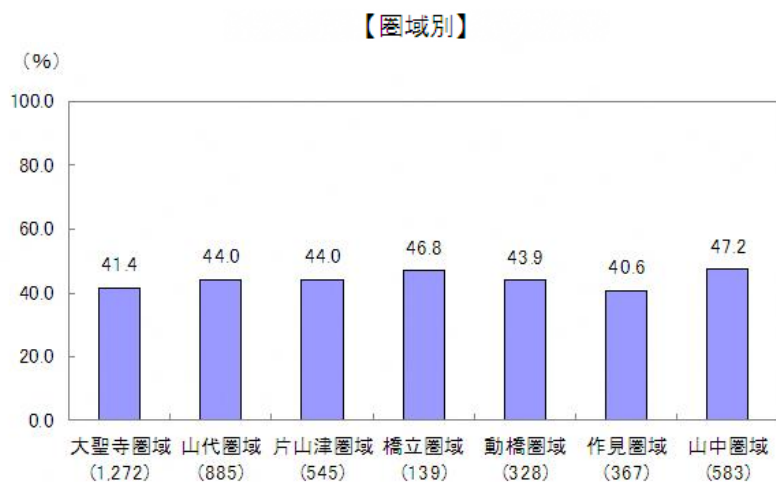
年齢階級が高くなるにつれ、リスク該当の割合が増加しています。75～79歳で全体平均を上回ることから、比較的早い年代からリスクが高くなることがうかがえます。また、90歳以上で特に割合が大きく増加し、90歳以上で63.2%と、85～89歳に比べ、10.4ポイント増加しています。



性別・年齢階級別にみると、女性では 85～90 歳で割合の増加がゆるやかになるものの、その後 90 歳以上で大きく増加しています。また、男性では、ほぼ一定の割合で増加しています。



圏域別にみると、山中圏域で 47.2%と最も高く、次いで、橋立圏域で 46.8%、山代圏域、片山津圏域で 44.0%となっています。また、最も低い圏域は作見圏域で 40.6%となっています。



⑦うつ

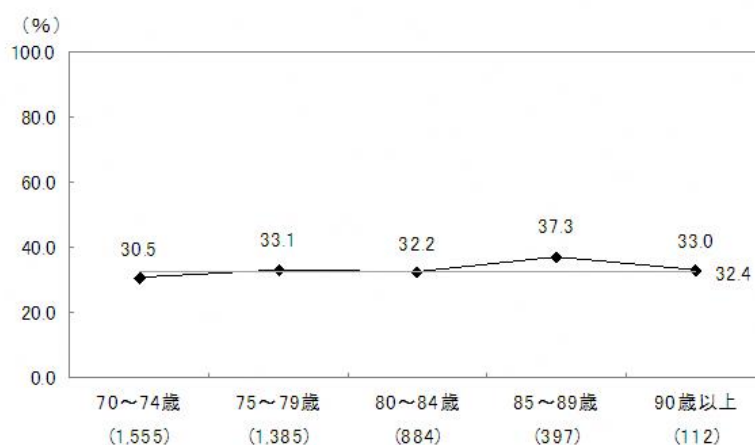
国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 30	この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問 31	この 1 か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

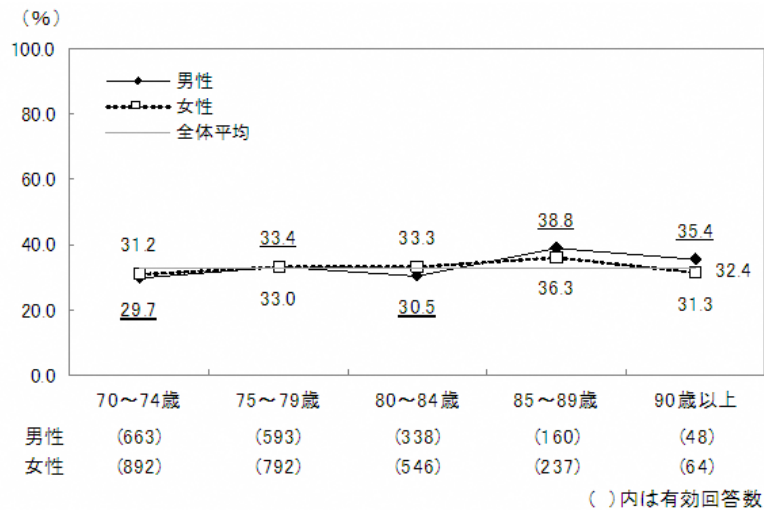
国の手引きに基づくうつの評価結果をみると、全体平均では、32.4%がうつのリスク該当者となっています。

年齢階級別でみると、85～89 歳を除き、ほぼ横ばいで推移しています。



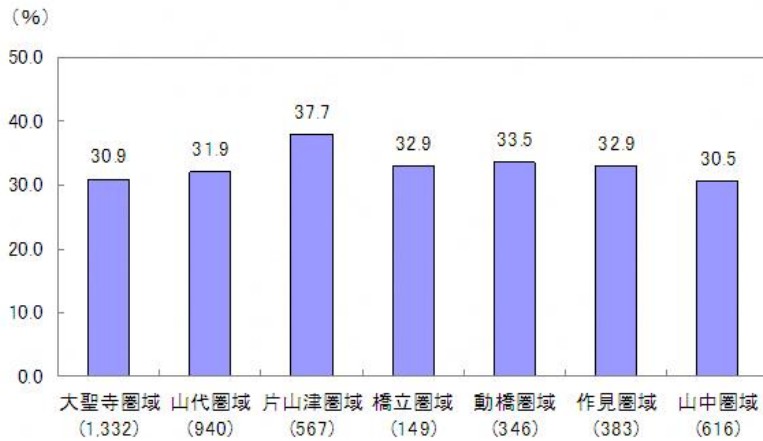
性別・年齢階級別にみると、男性では、85～89歳で増加が顕著となり、85～89歳では38.8%と80～84歳に比べ、8.3ポイント増加しています。

【性別・年齢階級別】



圏域別にみると、片山津圏域で37.7%と最も高く、次いで、動橋圏域で33.5%、橋立圏域、作見圏域で32.9%となっています。また、最も低い圏域は山中圏域で30.5%となっています。

【圏域別】



⑧手段的自立度（IADL）

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度（IADL）に関する設問が5問あり、「手段的自立度（IADL）」として尺度化されています。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。

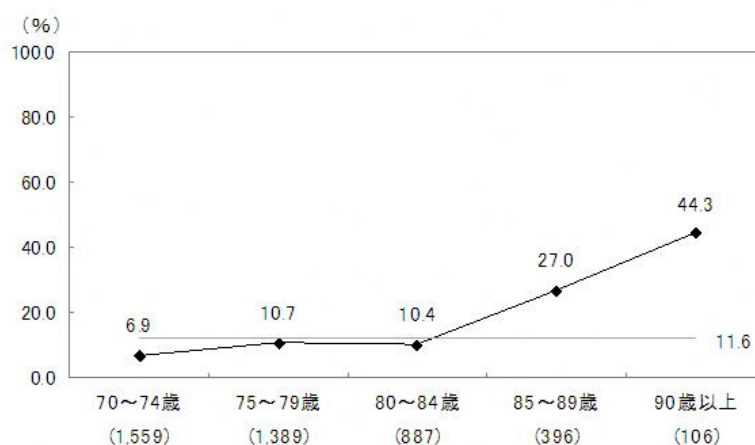
また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

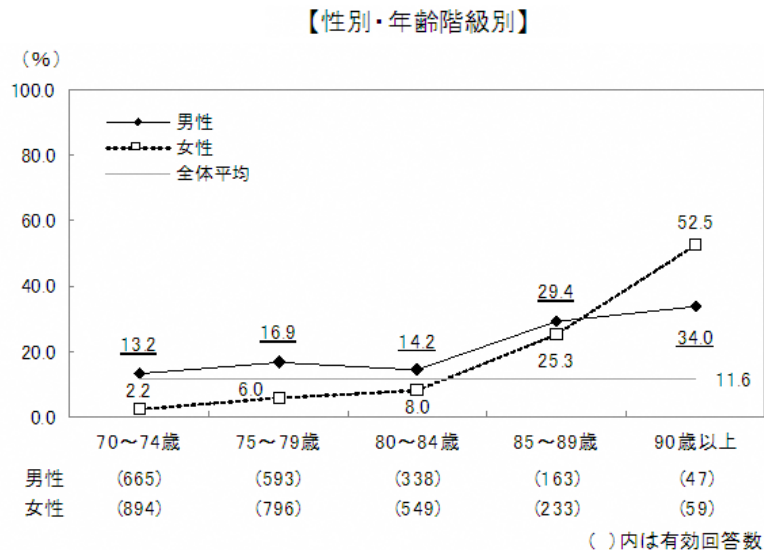
問番号	設問	該当する選択肢
問 16	バスや電車を使って1人で外出していますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問 17	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問 18	自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問 19	自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問 20	自分で預貯金のおし入れをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点

手段的自立度（IADL）の評価結果をみると、全体平均では、11.6%が手段的自立度（IADL）の低下者となっています。

85～89歳以降で大きく割合が増加しており、85～89歳で27.0%と、80～84歳に比べ、16.6ポイント増加しています。



性別・年齢階級別にみると、男性ではどの年齢階級でも全体平均を上回っています。女性では、80～84 歳までは割合が低くなっていますが、85～89 歳以降で急激に割合が増加し、85～89 歳で 25.3%と、80～84 歳に比べ、17.3 ポイント増加しています。90 歳以上では、女性が男性に比べ 18.5 ポイント高くなっています。



圏域別にみると、動橋圏域で 14.2%と最も高く、次いで、大聖寺圏域で 12.8%、橋立圏域で 12.2%となっています。また、最も低い圏域は山代圏域で 10.2%となっています。

